

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	都市デザイン	
科目基礎情報							
科目番号	7405			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	創造工学専攻（建設環境工学コース） （2023年度以前入学者）			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	参考書：谷口守：入門都市計画，森北出版						
担当教員	今岡 芳子						
到達目標							
・ 現代都市の問題について説明できる。 ・ 計画概念について説明できる。 ・ 都市計画に関連する制度について説明できる。 ・ これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
現代都市の問題について説明できる。		現代都市の問題について説明でき，その問題の評価ができる。		現代都市の問題について説明できる。		現代都市の問題について説明できない。	
計画概念について説明できる。		計画概念について説明でき，課題の解釈ができる。		計画概念について説明できる。		計画概念について説明できない。	
都市計画に関連する制度について説明できる。		都市計画に関連する制度について説明でき，課題について応用できる。		都市計画に関連する制度について説明できる。		都市計画に関連する制度について説明できない。	
これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，課題となる内容に適應できる。		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	都市デザインの手法としてのプランニング手法の考え方の基礎を修得するとともに，プランニングの能力を身につけるための基礎知識を習得することを目指す。						
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って進める。授業内容は必要最小限の項目にとどめる。 授業内容の理解を助けたり深めたりするために，必要に応じてグループにて討論などを行い，発表をする。 本科目は学修単位であるため，自学自習時間に相当する課題を毎日出題する。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業概要説明 都市の計画の概念について		計画の概念について説明できる。		
		2週	都市の計画の概念について		計画の概念について説明できる。		
		3週	都市の計画の概念について		計画の概念について説明できる。		
		4週	これまでの都市と現代都市の問題		現代都市の問題について説明できる。		
		5週	これまでの都市と現代都市の問題		現代都市の問題について説明できる。		
		6週	これまでの都市と現代都市の問題		現代都市の問題について説明できる。		
		7週	豊かな都市空間を考える		都市計画に関連する制度について説明できる。		
		8週	豊かな都市空間を考える		都市計画に関連する制度について説明できる。		
	2ndQ	9週	豊かな都市空間を考える		都市計画に関連する制度について説明できる。		
		10週	豊かな都市空間を考える		都市計画に関連する制度について説明できる。		
		11週	豊かな都市空間を考える		都市計画に関連する制度について説明できる。		
		12週	これからの都市づくり		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		
		13週	これからの都市づくり		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		
		14週	これからの都市づくり		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		
		15週	これからの都市づくり		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		
		16週	これからの都市づくり		これからの都市づくりについて，必要となる考え方について，説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。		5	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16

	レポート	発表(質疑応答含む)	合計
総合評価割合	60	40	100
現代都市の問題について説明できる.	15	10	25
計画概念について説明できる.	15	10	25
都市計画に関連する制度について説明できる.	15	10	25
これからの都市づくりについて、必要となる考え方について、説明できる.	15	10	25